

<認知症対応型共同生活介護用>

評価報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数
1. 理念の共有	11
2. 地域との支えあい	2
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	1
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	3
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

訪問調査日 調査実施の時間	平成 19年 5月 24日 開始 9時 20分 ～ 終了 14時 10分
訪問先事業所名 (都道府県)	きむら (鹿児島県)
評価調査員の氏名	氏 名 萩原 真一 氏 名 古木 照代
事業所側対応者	職 名 管理者 氏 名 穂満 妙子 ヒアリングを行った職員数 (4)人

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

○記入方法

〔取り組みの事実〕

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

〔取り組みを期待したい項目〕

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけます。

〔取り組みを期待したい内容〕

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

○用語の説明

家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族＝家族に限定しています。

運営者＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4673100113
法人名	医療法人 木村外科内科
事業所名	グループホーム きむら
所在地 (電話番号)	鹿児島市石谷町2101番地7号 (電 話) 099-278-5511
評価機関名	特定非営利活動法人 シルバーサービスネットワーク鹿児島
所在地	鹿児島市真砂町34番1号南光ビル303号
訪問調査日	平成19年5月24日

【情報提供票より】(平成19年5月1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成16年3月20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤	12 人, 非常勤 8 人, 常勤換算 13.4 人

(2)建物概要

建物形態	(併設)／単独	(新築)／改築
建物構造	鉄骨 造り	
	1 階建ての	1 階 ～ 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,500 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有／無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 0 円
	または1日当たり 円		

(4)利用者の概要(5月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	5 名	要介護2	4 名		
要介護3	5 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 87.2 歳	最低	80 歳	最高	99 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	是枝歯科医院 四元歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅地を見下ろす高台に位置し、眼下に広がる風景の変化を一日、又は一年を通して楽しめるホームである。同じ敷地内に、母体である医療機関やその他の介護サービス事業所があり、医療、介護の両面で連携が保たれている。ホーム内は明るく広々しており、入居者と職員が、穏やかでゆったりとした生活を送っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価で指摘された部分を前向きにとらえ、取り組み改善された事例が多く伺える。今後も運営推進会議等を有効に利用しながら、計画的、継続的な取り組みを行っていただきたい。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目②	自己評価は、管理者と計画作成担当者が中心になって行われているが、項目によっては、その他のスタッフや上司にも意見が聞かれ検討されている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
重点項目③	今年度より会議が開催され、議事録も整備されている。会議の内容もスタッフ全員に報告され、今後の運営や質の向上に活かせるように取り組まれている。
	家族の意見、苦情、不満への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
重点項目④	意見箱の設置や、面会時に積極的に声かけを行い、ご家族の意見や苦情、不満を汲み上げようとしているが具体的な声は聞かれていない。今後は、家族会の開催やアンケート調査を実施するなど、より積極的な取り組みに期待したい。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	地区の子供達との交流会、ボランティアの受け入れ、地域のバザー等、地域行事・活動に積極的に参加して交流を図っている。

2. 評価報告書

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域との関わりを大切にしながら事業所独自の理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各ユニットの玄関や談話室等、ホームの中心部やゆつくりと落ち着ける場所に理念を掲げてあり、普段から意識して仕事に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域住民も含めたバーベキュー大会や、地区の子供達との交流会、ボランティアの受け入れ、地域のバザー等への参加を通して交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員の意見を聞きながら取りまとめを行い、外部評価の結果をミーティングで報告し、具体的な改善策に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度より運営推進会議を開催し、入居者の状況やサービスの内容、外部評価への取り組み等について報告や話し合いを行っている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護相談員の受け入れや地域包括支援センター、行政窓口の担当者とやり取りを行う機会を持っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭出納状況や職員の異動、入居者の健康状態については、面会時や電話などにより家族に報告されているが、日常の暮らしぶりや全体の動きに関して、定期的な報告はなされていない。	○	ホーム便り等を作成して、定期的に入居者の暮らしぶりやホームの動き等を報告できるようにしていただきたい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や、面会時に積極的に声かけを行っているが、今のところ具体的な意見、苦情、不満は出ていない。	○	家族会の開催やアンケート調査を実施するなど、意見や苦情、不満を引き出す働きかけを行っていただきたい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が変わる場合のダメージを少なくする為に、日頃より各ユニットの職員を交流させて、馴染みの関係が維持できるように努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ミーティング時に事例検討を行い、研修の場としている。また、法人内での新人研修も行われているが、段階的に育成するための研修計画は作成されていない。	○	職員の段階に応じた研修機会の確保や、年間の研修計画を作成して実施してほしい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者と計画作成担当者は、地域の同業者との交流機会を持っているが、職員も含めた全体としての交流は行われていない。	○	近隣の同業者と相互訪問機会を持ち、職員も含めた交流機会を確保していただきたい。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前にご家族と一緒に見学してもらったり、体験的に利用したり職員が事前に面談するなどして、馴染みの関係が早めに作れるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者は人生の大先輩であるという事を念頭に置き、日常の場面でいろいろな知恵を教えていただけるように声かけして、支えあう関係作りに取り組んでいる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	可能であれば本人から聞き取り、困難な場合はご家族から情報をいただいて、本人の思いや意向に添えるよう援助している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	入居時の情報収集をはじめ、ご家族からの聞き取り、入居者との関わりの中から、必要な情報を引き出して介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に評価を行いながら、入居者に状態の変化が見られた場合には随時見直しを行い介護計画を作成している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人やご家族の要望や状態に応じて、通院や受診介助等の支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診や通院は、かかりつけ医の指示の下、必要に応じて行われている。又、必要に応じて他の医療機関とも連携を取り、適切な医療が受けられるように支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	必要に応じて、ご家族、主治医、職員で話し合い、今後に向けての方針を検討している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、入居者の誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけを行わないように心がけている。個人情報保護に関しても誓約書を作成し、説明を行っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物や散歩、入浴の時間、回数等、入居者のペースを尊重しながら柔軟に対応している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は、入居者の能力に応じて、食事の下準備や配膳、後片付けを一緒に行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間や回数等、入居者の希望や状態に応じて支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者一人ひとりの生活歴や希望を把握した上で、自分らしく生活できるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物等、入居者に声かけを行いながら支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠していない。不意に外出されても安全が確保できるように、死角になりやすい場所にはセンサーを設置し、職員が同行して散歩等を行うようにしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を実施しており、避難経路の確認や消火器の使用方の訓練を行い、緊急時連絡網も整備している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎週、体重測定を行い、毎食後の食事摂取量の把握と必要に応じて水分量の把握を行っている。献立は栄養士にチェックして貰っており、摂取カロリーを把握している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は明るく、季節に応じて写真や花が飾られている。居間は、大きな窓で見晴らしがよく、居心地のよい明るい空間が作られている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者それぞれに、必要な物や馴染みの物を持ち込んで貰い、その人らしく居心地のよい暮らしができるように配慮している。		